

医療連携ニュース



発行日：2012年 1月 1日

新春号(18号)

発行：国立病院機構



災害医療センター
地域医療連携室

発行責任者：院長 高里 良男



皆様明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

院長 高里 良男



当院は日常の高度急性期医療とともに政策医療としての災害医療を担っています。昨年3月11日宮城県沖での大地震による東日本大震災は多県に及ぶ広域激甚災害で、また福島原子力発電所事故の被曝問題も加わった複合災害となりました。当センターは特に超急性～急性期の災害医療基幹拠点病院であり、日本DMAT(Disaster Medical Assistance Team:災害派遣医療チーム)事務局として、全国のDMAT 850チーム5200人の中から、47全都道府県の380隊、1800人の被災地での災害医療救援体制を指揮・統括しました。活動内容は当院ヘリポートから出動した震災直後の調査ヘリ活動、12日間24時間体制での衛星回線などの電話・インターネットを使ったDMAT出動隊の情報コントロール、震災直後の現地行政・保健機能の壊滅的な状況をカバーすべく県庁支援、被災地の拠点・前線病院支援、情報現地収集、広域医療搬送、患者入院受け入、亜急性期以降の救護医療班、また被曝災害医療支援に及びました。

これから想定される首都直下、東海、東南海～南海地震などに対し、特に首都直下地震においては、この地域が被災地となりますので、皆様と一緒に積極的に準備体制強化と今後の訓練などに取り組んでいきたいと思ひます。

日常診療では地域中核病院(救命救急センター、地域医療支援病院、東京都認定がん診療病院、日本医療機能評価機構Ver.5認定病院)として機能し、年間約1万人の入院患者さんを診療しました。今まで年数ヵ月満床状態で入院制限を行わざるをえなかったのを平均在院日数を約1.5日程短縮(40床分)し、救急を含む診療制限のない状態へと変えました。本年も地域中核病院の役割を担うキャッチフレーズとして「左手に災害医療、右手に高度な日常診療」を心掛けて総勢約860名の職員一同邁進したいと思ひています。今年もよろしくお願申し上げます。



副院長 檜垣 昌夫

昨年は3.11東日本大震災、台風による浸水被害など大変な年でありました。今年は安康な年であるように願っております。地域医療連携室も年々人員・内容ともに充実してきており、連携医の先生方にご満足いただけるように頑張っていきたいと思っておりますので、昨年以上によりしくお願申し上げます。

統括診療部長(地域医療連携室長) 佐藤 康弘

昨年5月より、医療連携室長を拝命いたしました。昨年末の登録医数は242人になり、前年より約50人増加しました。今後とも、密な病診連携を図り、当院の登録医の先生を増やしていきたいと思ひます。本年も昇竜の勢いで頑張ります。よろしくお願いたします。



臨床研究部長 小井土雄一

昨年は本当に大変な年でした。災害の教訓を生かし、この地域を守るため、更なる災害医療体制の構築に向けて邁進していきたいと思ひます。



事務部長 田中雅典

事務部として病診・病病連携で地域の医療機関の先生方に、紹介しやすい病院、また利用しやすい病院をめざして、より一層頑張っていく所存でありますので、本年もよろしくお願いたします。



看護部長 福田淑江

今年は診療報酬・介護報酬同時改定の年、慌ただしくはありますが患者様のご病気の回復に向け、連携をさらに強いものにしたいと思ひています。よろしくお願いたします。

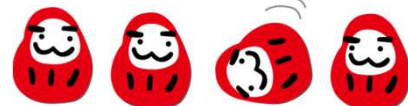




2012

診療科からのご挨拶

ご挨拶



循環器科

循環器科では、昨年以上に病診連携を充実させていきたいと思っております。よろしくお申し上げます。



医長 佐藤 康弘

呼吸器科

地域の先生方のお役に立てるよう、よりよい連携を目指して参ります。肺癌、COPD、喘息等呼吸器疾患の患者さんのご紹介をお待ちしております。

医長 上村 光弘

血液内科

今年も造血器腫瘍(多発性骨髄腫、急性白血病など)の治療を通じて、地域のニーズに応えていきたいと考えております。



医長 竹迫 直樹

代謝・内分泌科

東京都の事業として北多摩西部医療圏における糖尿病の医療連携を担当させていただいております。糖尿病の教育入院の適応のある患者様のご紹介をお願いします。

医長 鈴木 誠司

消化器科

消化器科診療のさらなる充実を求めて尽力していきたいと存じます。経鼻内視鏡、鎮静化内視鏡を近々開始する予定です(準備中)。詳細は医療連携室にお尋ね下さい。

医長 平田 啓一

神経内科

今年も先生方との連携により、いい医療ができるよう心がけて参ります。脳梗塞急性期治療や認知症の診断などに力を入れております。よろしくお申し上げます。

医長 三明 裕知

腎臓内科

今年も地域の先生方と連携し、腎疾患の治療に当たっていきたくて考えております。よろしくお申し致します。

医長 前田 章雄

膠原病・リウマチ内科

関節リウマチや膠原病が疑われたら、医療連携室を通してご予約ください。

医師 満尾 晶子

女性総合外来

女性総合外来、今年もお気軽にご相談ください。



医師 永島 加代

小児科

新たな年がはじまりました。本年も子供たちの元気な笑顔が見られるように、診療に努めてまいります。どうぞよろしくお申しいたします。

医長 古池 雄治



精神科

今年も緩和ケアをはじめ身体疾患患者さんの精神的ケア、自殺未遂者への対応、そして臨床研究など、総合病院の精神科に求められる役割を果たしていきたいと思っております。

医師 西 大輔

あけましておめでとうございます



消化器・乳腺外科

難治の消化器癌、肝胆膵癌に今年も積極的に治療してまいります。よろしくお願いいたします。



医長 伊藤 豊

脳神経外科

昨年は多くのご紹介を賜りありがとうございました。脳梗塞の予防的な手術や脳ドックも行っております。本年も重症から軽症まで頭部疾患のご紹介をよろしくお願いいたします。

医長 正岡 博幸

救命救急センター

今年もスタッフ一丸となり、この地域の救急医療の「最後の砦」として皆さまのお力になりたいと思います。



部長 小井土雄一

整形外科

今年の1月から骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折に対してBalloon Kyphoplastyを始めました。これからもご紹介よろしくお願いいたします。

医長 松崎 英剛

呼吸器外科

地域の先生方からのご紹介のおかげで昨年は肺癌手術症例が増えました。ありがとうございました。今年も引き続きご紹介のほどよろしくお願いいたします。

医長 森田 敬知

心臓血管外科

地域の先生方との連携を図りながら、緊急手術やハイリスク症例などに対しても可能な限り対応させていただきたいと考えております。今年もよろしくお願いいたします。

医長 新野 哲也

皮膚科

様々な地域医療連携の一つとして、「皮膚疾患」の連携もあるはず。病病・病診を問わず、地域で強めてゆければと思います。診断・治療困難例など、どしどしご相談下さい。

医長 堀内 義仁

眼科

年末に待望のOCT(光干渉断層計)が納入されました。眼底疾患、緑内障の診断に大変有用です。やっと大人になったような感じで、今年も良い年になりそうです。

医長 寺田 久雄

泌尿器科

泌尿器科診療の充実や逆紹介などの医療連携を積極的に進めていきたいと考えていますので、今年もよろしくお願いいたします。

医長 坂本 英雄

形成外科

形成外科はきれいに傷を治すことから、治らない傷を治すこと、残存した傷跡の治療まで幅広く扱っております。本年もよろしくお願いいたします。

医長 磯野 伸雄

麻酔科

本年も予定手術、緊急手術を円滑にすすめられるよう手術室スタッフとともにがんばります。



医長 高木 敏行

中央放射線部

放射線治療装置は新装置に更新し、最新の放射線治療が可能になりました。CT・MRI・核医学等検査を迅速に提供いたします。

医長 福田 一郎
医長 服部 貴行
技師長 小笠原 哲



耳鼻咽喉科

入院治療が必要な患者さまの受け入れ体制がまだ整っていませんが、外来診療で可能な患者さまは、地域医療連携室を通してご紹介ください。

医師一同

歯科口腔外科

本年も地域の先生方とより良い連携を取り、質の高い医療に努めます。本年も医療連携よろしくお祈いします。

医師 岩成 進吉

婦人科

入院治療が必要な患者さまの受け入れ体制がまだ整っていませんが、外来診療で可能な患者さまはご紹介ください。

医師一同

2012



薬剤科

薬一薬連携から医療チーム連携、そして地域医療連携のさらなる発展・向上を目指して本年も頑張っていきます。

科長 飯島 道生

臨床検査科

『災害医療センターの検査科はすばらしい!』と言われるような、一歩進んだ臨床検査科をめざして日々、精進してまいります。

技師長 渡司 博幸

リハビリテーション科

より円滑な連携を目指しスタッフ一同協力してがんばりたいと思います。本年もよろしくお祈いします。

士長 奥津 良太

栄養管理室

健康は食事から!! 地域の方々にわかりやすい栄養食事指導を行っていききたいと思ひます。本年もよろしくお祈いします。

室長 田中 晴美

医療福祉相談係

退院支援・がん相談を軸に今まで以上の取り組みを考えて参ります。患者さまと地域のために精一杯力を尽くす所存です。

MSW一同

第14回

市民公開講座開催のお知らせ

肺がんの予防と治療

~もしも肺がんと診断されたら~

日時: 平成24年2月18日(土)
14:00~16:00

場所: 災害医療センター
4階研修室(地域医療研修センター)

定員: 200名(先着申込順)
参加費: 無料

市民公開講座申込受付終了のお知らせ

1月21日(土)に開催いたします第12回市民公開講座「災害訓練見学会」は定員に達したため、申込受付を終了させていただきました。たくさんのお申込みありがとうございました。

今年も地域医療連携を推進するために力を尽くしたいと思ひます。ご指導、ご鞭撻、ご協力よろしくお祈い致します。皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。
地域医療連携室 樋口早智子

【地域医療連携室直通】 TEL: 042-526-5613
FAX: 042-526-5547
Eメール renkei@tdmc.hosp.go.jp